

文教常任委員会での質問



平成27年度全国学力・学習状況調査について

北海道の状況は、全体として全国との差は改善傾向にあるものの多くの教科で全国を下回っています。子どもたち一人ひとりに確かな学力を身につけていくために、子ども自身の学習に対する意欲を高めていくことが大切です。北海道は地域によっては塾もないところが多く、子どもたちに家庭学習を定着させていくことが重要で学校と家庭が連携協力した取組みが必要で今後の道教委の取組みについて質問。

<北海道の子どもたち> (調査結果の一部より)

「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合は全国より高い。

「普段、1日当たり1時間以上勉強する」と回答した児童生徒の割合は全国より低い。

「普段、3時間以上テレビゲームをする」と回答した児童生徒の割合は全国より高い。

答弁▶道教委は、家庭学習の充実に向けた取組として「子どもが主体的に家庭学習に取り組むことの大切さ」を示した「保護者向けの啓発資料」を作成し、『ほっかいどう学力・体力向上運動』を展開する中で有効に活用し、学校やPTAとも連携し意識啓発を図るとのこと。

いじめ・不登校などの学校教育に関する悩みや、子育て・しつけなどの家庭教育に関する悩みについての相談に対応しています。

北海道教育委員会 子供相談支援センター

※電話相談は平成27年10月1日から「子供相談支援センター」で受け付けています

毎日24時間受付 ☎ 0120-3882-56

メール相談アドレス doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

北方領土対策 特別委員会での質問

若い世代を対象とした啓発活動について

委員会道外調査で訪れた兵庫県や京都府は、若い世代の啓発事業に熱心に取り組んでいた。多くの元島民が住んでいる地元である北海道も若い世代への啓発をさらに力を入れるべきで大要以下2点について質問。

- ①北方領土問題発生から今年70年という節目に実施された「北方領土早期返還祈念合唱コンサート」は一般道民にもなじみやすく今後、継続を検討してはどうか。
- ②他県で取り組まれている「作文コンテスト」を北海道でも実施してはどうか。

答弁▶道は、今後のコンサート開催について参加校や関係団体の意見も伺いながら検討、また作文コンテストは、他県の事例研究とともに道教委の意見も伺いながら検討するとのこと。



北方領土アニメ映画「ジョバンニの島」の学校上映料無償に!

政府は北方領土対策関連予算の新規事業として各都道府県の教育者会議の活動拡充費3,700万円を盛り込みました。

学校で上映する「ジョバンニの島」DVD使用料を全額負担するとした。(現在、上映会を開くには1日7万円のDVD使用料が必要)

プロフィール

- 昭和44年3月……………釧路市生まれ
- 昭和56年3月……………釧路市立東栄小学校 卒業
- 昭和59年3月……………釧路市立弥生中学校 卒業
- 平成2年3月……………道立釧路湖陵高等学校 定時制 卒業
- 平成6年3月……………釧路公立大学 経済学部 卒業
- 平成26年12月……………トヨタカローラ釧路(株) 退職

- 平成27年4月……………北海道議会議員 初当選
- 現在……………北海道議会 文教委員会 理事
北方領土対策特別委員会 理事

田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064



田中ひでき オフィシャルウェブサイト

製作/橋新生

田中ひでき

北海道議会議員



2016年
春号

Action report

北海道議会議員 田中英樹 道政報告通信紙

平成28年 第1回北海道議会定例会にて / 一般質問(要旨)

①防災対策について

◆万が一、災害が発生した場合、避難訓練などの防災訓練が重要 昨年度、道内128市町村(全179市町村)で防災訓練が実施された。今後、より多くの市町村が実効性の高い防災訓練を実施することを求めた。

答弁▶今後、隔年実施する各振興局の災害対策地方本部運営訓練への市町村の参加を積極的に働きかけ、道の防災総合訓練を2日間に拡充

◆応急活動を円滑に実施するため防災資機材の整備充実を図るため、「地域づくり総合交付金」の一層の活用を図るよう求めた。

答弁▶地域づくり総合交付金活用は市町村の要望も踏まえた運用に努める

②道東の観光振興について

◆釧路市は「水のカムイ観光圏」、「広域観光周遊ルート」、「観光立国ショーケース」が観光庁から認定された。道東エリアの観光施策を積極的に展開することを求めた。

答弁▶新年度より道央圏からの誘客促進を目的とする「北海道周遊大動脈形成実証事業」や「広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業」を実施し道東地域への更なる誘客を図る。

◆観光客受入に向けた体制づくりについて多言語対応や農地などへのマナー徹底など観光客のニーズ把握によるリピーター増加策について

答弁▶外国人観光客向けの「観光マナーガイド」を作成し環境づくりを行う。

◆観光地におけるガイド養成について外国語が話せるガイドや地域の歴史・文化・伝統などを説明できる専門ガイド養成

答弁▶現在ある「アウトドア資格認定制度」や「まちあるきガイド」の研修など今後も良質な観光ガイドの育成を促進するとともに知床におけるネイチャーガイドの養成にも取り組む。

◆バス運転手確保について

答弁▶国や関係団体との連携を強めバス運転手の確保に向けた事業者の取組みを促進するなど環境整備に努める。



③道内空港の活性化について

◆旭川、女満別、帯広、釧路などの地方空港へ観光客を分散化させるため地方空港の受入体制の整備を図ることやLC Cなど新規路線誘致を図るため道独自の着陸料軽減補助制度の創設や機体に積もった雪を取り除くデアイシングの支援を求めた。

答弁▶地方空港の空港内カウンター整備などの初期投資や降雪時のデアイシング費用を支援するなど新規航空路線の誘致に積極的に取り組む。

◆釧路空港の計器着陸装置の整備について、カテゴリⅡ整備を求めた。

答弁▶一部の航空会社では使用機材や操縦士の資格によりカテゴリⅢ運航に対応できない場合もあることから、航空会社の実態やニーズの把握に努め釧路空港が置かれている気象条件のもとでも新たな路線の就航が促進されるよう取り組む。

④知床地域のエコツアーについて

◆冬期間における知床観光の取組みとしてエコツアーを継続して実施することを求めた

答弁▶知床エコツアーは14のガイド事業者のネイチャーガイドが案内する知床五湖を巡るツアーで昨年は750人この冬も1,700人を超える参加者があり、今後、国や道、地元斜里町・羅臼町、観光協会、学識経験者で構成する適正利用エコツアー協議会において協議検討する。

⑤自転車安全対策条例の制定検討について

◆急増する自転車事故やマナー違反に対応するため道民が安心して暮らせる地域実現に向けて条例制定の検討を求めた。

答弁▶道警察などと連携し状況を踏まえながら条例を含め、他県の取組状況なども調査し、効果的な対策を検討する。

⑥酪農振興について

◆日本の生乳生産の過半を占める基幹産業である酪農はTPP協定により影響は179億～258億と言われ、チーズなどの乳製品の関税削減による乳価下落など長期にわたる影響が懸念される。道主体の地元への説明や相談窓口の設置、さらに今後も継続的な支援が必要であると求めた。

答弁▶国のTPP対策として措置された畜産クラスター事業とともに道独自の対策として草地基盤整備による収益力の強化、多様な担い手の育成・確保や放牧酪農の推進対策を計上、こうした事業の着実かつ継続的な実施により経営の安定と安全・安心で良質な牛乳乳製品の安定供給を図り、生産者の方々の不安払拭と本道酪農の持続的な発展につなげる。



熱い心で
未来を創る!



北海道・道東のために全道をかけ巡ります。

『鶴野東かがやき町内会』を設立!

私の住む鶴野東4丁目は、町内会がないため、街路灯も無く、夜になると真っ暗となり住民の方から不安の声があがっていました。



昨年10月に町内会発足をして11月21日にLED街路灯40基を取り付けました。道行く町内の方に大変喜ばれました!! 町内会役員・会員の皆さまのおかげです。これからも地域発展のため、がんばりますので、よろしくをお願いします!!

「街が明るくなって安心」
北海道釧路市鶴野東4丁目地区でこのほど、LED街路灯が40基増え「街が明るく安心」
この地域は、ここ数年で世帯数が大幅に増えた新興住宅街。「街路灯の整備が進まず、夜道で不安」を感じた住民の声は、町内会がないこともあって、思うようには行政に届かなかった。同地域に住む公明党の田中央樹道議員は、昨年4月の初選を期に松橋尚文市議と連携し、町内会発足に向けた準備を開始。住民有志の協力を得て、町内会構成区域となる全165軒を訪ねて参加呼び掛け、10月に「鶴野東かがやき町内会（会長 田中央樹道）が発足した。

町内会による市への要望が功を奏し、今回の街路灯設置へとつながった。副会長の廣田憲幸さんは、「約2カ月という短期間で実現することは思わなかった。長年の不安が解消された」と満面の笑み。田中央議員は今後も草の根の活動で、地域の要望に丁寧に対応していくと話していた。

平成28年1月1日 公明新聞より

押しボタン式信号機が設置されました!

釧路市昭和中央5丁目～6丁目の市道に押しボタン式信号機が設置されました! 昨年、一昨年と子どもが交通事故に巻き込まれている、とても危険な道路でした。地域の町内会や学校やPTAなど数年にわたる要望が実を結びました。地域の皆様のご尽力に感謝致します。



「これで一安心です」
接獲 釧路市昭和中央地区を上げて走る自動車も多く、通る市道にこのほど、歩行者用信号機が設置され、地域住民に喜ばれている「押しボタン式信号機」が設置された。この場所は、市立昭和小学校の通学路。同通学路の長い直線道路で、スピードをこのほど秋田県一市議は、田中央樹道と連携して関係機関に働き掛け、新学期的スタートを前に信号機が設置された。昭和中央5丁目町内会の専任子婦人部長は、「長年の要望が実現し、一安心です」と話していた。

平成28年4月3日 公明新聞より

文教委員会 広島県視察

1月25日

広島市立藤の木小学校を視察。藤の木小学校はH22年からICT活用の実証事業を展開し、全児童が1人1台のPCにて授業が行われていました。

北海道は広域分散型地域であることや少子化による児童生徒の減少など、今後ICT導入も検討される中、活用のメリットや課題など大変参考になりました。



予算要望

1月27日

道議会公明党は、高橋はるみ知事に2016年度北海道予算編成及び道政執行に対して重点要望を行いました。重点要望は前年度より48項目増えて333項目、最重点要望は同11項目増えて52項目となりました。私からは文化スポーツ部の設置について言及。部には至りませんが局として新設の方向となりました。



北方領土早期祈念合唱コンサート

2月6日

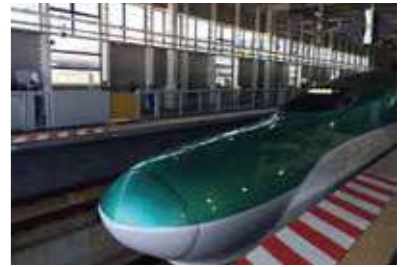
若い世代への啓発活動として2月6日に札幌コンサートホールkitaraで行なった「北方領土早期返還祈念合唱コンサート」に参加しました。



北海道新幹線開業

3月26日

北海道議会公明党が推進し続けてきた北海道新幹線が3月26日から運行しました。



北方領土フェスティバル

2月7日

2月7日北方領土の日に、札幌大通雪まつり会場で北方領土フェスティバルに委員として参加しました。外務省参事官、高橋はるみ知事、遠藤議長、角谷北対委員長、委員の皆さまとともに参加。択捉島の元島民の方より71年いまだ故郷が帰ってこない、樺太抑留から命からがら函館にひきあげて家も財産も全て失ったとの体験を聞きました。



北方領土問題は元島民の問題ではなく日本国民の問題です。今後とも国の外交交渉を後押しすべく、若い世代で世論啓発につとめ、1日も早い返還を目指していきます!

豊富温泉

2月16日～17日

全国のアトピー性皮膚炎や尋常性乾癬などの皮膚疾患に悩む方が訪れる日本最北端の豊富温泉。かすかな石油臭をとまなうモール泉です。実際に入ると独特の泉質で皮膚疾患のない私でも皮膚に良さそうに感じました。

旭川から7年前に移住された方や、愛知から2年前に移住された方のお話を伺いました。この豊富温泉は皮膚疾患に顕著な効果があることから北海道初の療養型温泉として期待されています。

町営の日帰り入浴施設である豊富町ふれあいセンターを視察し、午後からは豊富町・工藤町長と意見交換させていただきました。館内には保健師常駐の健康相談室。さらに総合案内所兼憩いの場『コンシェルジュ・デスク』があり、ここでは湯治経験のあるスタッフが湯治される方のサポートをしています。豊富町では湯治滞在費用の軽減のため保養宿泊所「湯快宿」を平成11年に開設。町をあげて皮膚疾患の方のサポートをしています。ここ5年ぐらいで毎年5人ずつ移住される方がいるそうです。

湯治される多くの方が、「豊富温泉に命を救われた!」と言われます!アトピー性皮膚炎や乾癬を患っている方大変さを聞くと胸が痛みます。北海道、否、日本の財産でもある豊富温泉が湯治される方や地元の人にこれからも愛されることを願うと同時にしっかりと支えていきたいと思ひます。



阿寒IC開通

3月12日

3月12日、道東自動車道の阿寒ICと釧路外環・釧路西IC～釧路東ICがダブル開通しました!

道央圏がますます近くなり、今後は観光、物流、災害時対応など様々な波及効果が期待されます。

